

● 平成 28 年度 第 3 回 『子どもの内分泌疾患（甲状腺）』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 香川 礼子先生

実施日時：平成 28 年 9 月 27 日（火） 14：00～16：00

会 場：広島県尾道庁舎（東部保健所）

対 象 者：甲状腺疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：16 人（家族 12 人、保健師 1 人、看護師 2 人、本人 1 人）

こども 3 人

担当：東部保健所

● 講演内容

① 甲状腺病態生理について

甲状腺の位置、関与するホルモン、その働きについて

② こどもに見られる甲状腺の病気

先天性甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、
自己免疫性甲状腺機能低下症（橋本病）
甲状腺クリーゼ

③ 各疾患の治療

④ 疾患に罹患している女性の妊娠・出産

甲状腺の病気とヨウ素



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「甲状腺に関する情報が欲しかった」「自宅の近くで開催されたため」

「小児科から内科への移行について知りたい」「職務上学習の機会になればと思った」

<参加された方の感想>

「詳しく教えていただけて甲状腺のことがよく分かった」

「普段話せないことを話すことができた」「悩みが少し解決した」

● 相談員より一言

昨年度から 2 回目となる甲状腺疾患の交流会を開催しました。講演では分かりやすく病態生理や疾患について説明され、甲状腺疾患は治療が長期間となるため定期的な受診の大切さなども学ぶことが出来ました。

慢性疾患のお子さんのご家族は同じ病気のご家族と触れ合う機会が殆どなく、情報交換も難しく悩まれている方も多です。「この地域で甲状腺のこういう会を初めて開催してもらった」との声も頂き県内各地で開催することの意義も感じました。

